



平成 24 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 R I S E
代表者名 代表取締役会長兼社長
川畑 喜代之
(J A S D A Q ・ コード 8836)
問合せ先 コーポレート統括部
総務部長 杉 山 顕 士
(TEL : 03-5283-0851)

業績予想の修正および営業外収益の計上に関するお知らせ

当社は平成 23 年 5 月 13 日に発表いたしました、平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日）の通期の業績予想（連結）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期の（連結）業績予想数値の修正 (単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	810	2	8	8	△10 円 35 銭
今回発表予想 (B)	374	△103	△49	△53	△11 円 54 銭
増減額 (B - A)	△436	△105	△57	△61	—
増 減 率 (%)	△53.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 平成 23 年 3 月期	558	△104	△99	△342	△1 円 78 銭

2. 修正の理由

当初の予想では、福島県郡山市での宅地分譲事業と投資不動産等の販売で 572 百万円、賃料収入で 238 百万円の売上を見込んでおりましたが、賃料収入については計画通りであります、宅地分譲の販売については、東日本大震災発生後、福島第 1 原子力発電所事故の影響を受け当初の予想を下回る結果となり、また、投資不動産等の販売については、港区の物件の売却活動を進めてきましたが最終的に折合いがつかず当期の売上に計上することはできませんでした。これにより、売上高は 374 百万円となり当初の予想を 436 百万円下回る見込みであります。

営業利益につきましては、売上高の減少により当初予想を下回る見込みであります。これらの結果、売上高および利益ともに当初の予想を下回る見込みであります。

また、滞留債権の回収が進んだことから営業外収益として、貸倒引当金戻入額が通期で 43 百万円発生いたします。

現在、東日本大震災からの復旧が緒につき、復興経済への期待感が昂まってきたことから郡山での住宅需要は戻りつつあり、当社でも現地体制の強化とマーケティング施策の見直しを進めた結果、売上は回復基調にあります。

以 上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。